



CAR SECURITY FOR 24V

310B

目次

はじめに	1
安全に正しくお使いいただくための表示について	1
危険	2
警告	2
注意	3
その他の注意	3
梱包物をご確認ください	4
リモコンの各部名称と役割	4
セキュリティをセットする	5
セキュリティセット(警戒)	5
サイレントモードの(リモコンボタンIIによる)セット	5
消音の(リモコンボタンIIIによる)セット	5
オートアーム機能によるセット	6
オートリアーム機能によるセット	6
エラーチャープ	7
セキュリティを解除する	7
消音解除(リモコンボタンIIまたはIIIによる操作)	7
通常の(リモコンボタンIによる)解除	7
緊急(緊急リセットコードによる)解除	8
その他の操作	8
ダイレクトドアロックのボタン操作	8
警戒中のシステム動作	8
その他の機能	10
各種機能の設定	11
機能選択項目説明	12
インテリジェントIGプロテクト(始動対応)	12
エンジン始動中確認動作(アイドリング連動ライト)	12
オートアーム	12
オートリアーム	12

イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)	12
------------------------------	----

リモコン登録方法	23
----------------	----

仕様一覧	26
------------	----





はじめに


この度はSCIBORG310 24V専用セキュリティをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いいたします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくための注意事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

 **危険** 人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **警告** 人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

 **注意** 本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危険

● 本装置取付け時のバッテリー電源

本装置の取付を行う場合には必ずバッテリー電源をはずした状態で作業を行ってください。電源がはずされていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警告

● 本装置の取付

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 24V車専用

本装置は24V電源専用機器です。12V車への取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。



注 意

● 本装置の固定

本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

車両のバッテリーターミナルをはずす際には必ず本製品の主電源（メインカプラ）をはずした状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているリモコンIDコードが消える等の故障の原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両はバッテリーがはずされたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

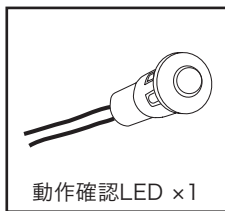
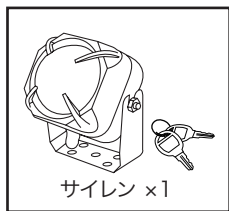
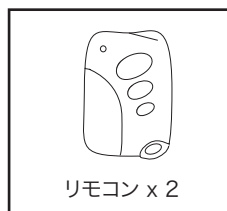
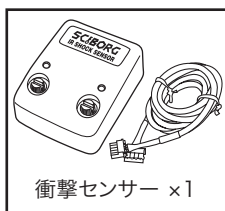
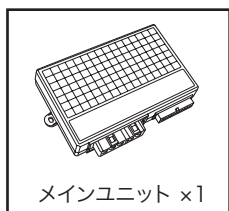


その他の注意

- 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任を負いかねます。

- 本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。

梱包物をご確認ください



その他の梱包物

配線用ハーネス(カラー電線)	X	1
配線用ハーネス4極カプラ(黒電線)	X	1
配線用ハーネス6極カプラ(黒電線)	X	1
衝撃センサー固定用両面テープ	X	1
SCIBORGステッカー	X	1
本説明書	X	1

リモコンの各部名称と役割



機能	ボタン操作
セット/解除(確認チャープ音 [※] 有)	CH1
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音 [※] 無)	CH2
消音セット/解除(確認チャープ音 [※] 無)	CH3
センサーバイパスモードのセット	CH1&CH2
ドア・ロック/アンロックのみの操作	CH2&CH3
パニック機能	各ボタンの長押し

※ 310-1ではチャープ音はありません。

システムをセットする



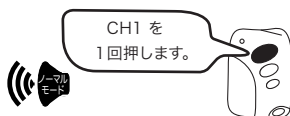
注意!

サイレン(チャープ音)発報には、サイレンの接続、ハザードフラッシュには、ハザード配線が必要となります。ドアロック運動については、ドアロック・アンロック配線が必要となります。

システムセット(警戒)

通常モードのセット

リモコンのCH1ボタンを1回短く押します。

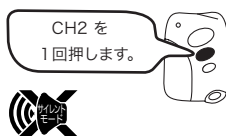


チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。(ハザードフラッシュの配線が施されている場合は)ハザードが1回点滅し、(ドアロックの接続がされている場合には)ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

※LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをまわしても発報しません。

サイレントモードの(リモコンボタンIIによる)セット

リモコンのCH2ボタンを1回短く押すことにより、サイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとは、システム警戒時に異常が検知された場合にサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。



LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

消音の(リモコンボタンIIIによる)セット

リモコンのCH3ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセットする事ができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。



LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

システムをセットする (続き)

センサーバイパスモードの(リモコンボタンI+II)セット

リモコンのCH1ボタンとCH2ボタンを同時に押すと、センサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー(別売)を一時的に検知しないようにセットするモードです。それ以外の動作は通常モードと同じです。

CH1とCH2を
同時に1回押します。



チャープ音が2回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

オートアーム機能によるセット …(機能設定した場合のみ)

イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセットされます。(ドアロックは行いません)

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、同時に動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックはされません。

オートリアーム機能によるセット …(機能設定した場合のみ)

解除後60秒以内にドアが開けられない場合には、自動的に再セットされます。誤って解除しても自動的に再セットできる便利な機能です。

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

ヒント

どの方法でセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをまわしても発報しません。



システムをセットする (続き)

エラーチャープ

警戒セット時にすでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、セット後すぐに異常を知らせます。

LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態に戻してください。LEDが点滅を始めても、異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされています。バイパスは異常信号がなくなってから5秒後に復帰します。

通常モードまたはセンサーバイパスモードのセット時

警戒セット後にチャープ音を2回発し、2回のハザード点滅を行います。

サイレントモードまたは消音セット時

警戒セット後にハザード点滅を2回行います。(チャープ音は鳴りません。)



注意!

- ・ ドア信号入力はドアが一度完全に閉じられるまでバイパスされ、閉じられた後は正常に監視されます。
- ・ セット時に異常となっているセクター(ドア、センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(ドアは閉じる、センサーは反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、トランク、IG)の総称です。

システムを解除する

通常の(リモコンボタンIによる)解除

リモコンのCH1ボタンを1回短く押します。

チャープ音が3回発せられLEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力(GWA)が停止します。

CH1 を
1回押します。



消音解除(リモコンボタンIIまたはIIIによる操作)

リモコンのCH2またはCH3ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながら解除する事ができます。

CH2 or CH3
を一回押す。



LEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力(GWA)が停止します。

システムを解除する (続き)

緊急 (緊急リセットコードによる) 解除

※ 緊急解除機能を使用するには、ドア信号入力線及びIG信号入力線が接続されている必要があります。

手順	作業内容
1	警戒(セット)中にドアを開け異常発報させます。
2	異常発報中にイグニッションキーを任意に登録した緊急リセットコードの回数 ACC⇄ONの間で動かします。(ドアは開けたままの状態で行ってください。)
30秒間の異常発報停止後チャープ音が3回鳴り、解除されます。	

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

その他の操作

ダイレクトドアロックのボタン操作

CH2 & CH3 を同時に短く押すことでシステムをセットせずにドアのロック/アンロックのみをコントロールすることができます。

警戒中のシステム動作

ドア検知

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドア開けによる発報はドアを解放したままの状態です。その後は一旦ドアを閉め、再度ドアを開けるまでサイレンは発報しません。

センサー検知

シングルステージ: (弱衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警告動作を行うとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが5回点滅します。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ: (強衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警報動作をおこなうと30秒間またはリモコンで停止するまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

警戒中のシステム動作(続き)

システム警戒中のエンジン始動検知

機能選択表のインテリジェントIGプロテクト(IIP)のモード選択(11頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

I プロテクトモード(アイドリング非対応):

エンジンがかけられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。

イグニッションをONにしたままにすると本警報は最大で10回鳴り、11回目からはサイレンは鳴動しません。



II アイドリング対応モード:

エンジンを始動したままシステムをセットすることができます。エンジン始動中にセットするとショックセンサーはエンジン停止までバイパスされます。ただし、このモードが選択中であってもドアは引き続き監視中ですので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。

エンジンをかけたまま車内で仮眠をとる場合のセキュリティとして使用できます。



注意!

※ ドアを開ける前に必ずシステムを解除してください。解除しない場合には異常発報します。

また、一度異常発報すると再セットするまで衝撃センサーのバイパスが解除され、衝撃でも異常発報するようになります。

動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONになるまで続きます。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

GWA(動作中出力)

セット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

ハイセキュリティサイレンストップ

車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、リモコンのボタンを1回押すと、異常発報が停止し、警戒は継続します。解除したい場合には異常発報していない状態で CH1、CH2、CH3、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

その他の機能

ハザードの点滅

セット時→1回点滅、発報中→30秒間点滅、解除時→3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→2回点滅。

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度セットする必要があります。(※ドアは除く)
(ヒント!)セクターとはドア、トランク、IG、センサー等の監視箇所のことです。

(トリガー)メモリー機能

解除時に通常3回の解除音が4回に変化し、通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅は、システムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで続きます。このような場合は車両に異常がないか確認してください。

パニックサイレン機能

CH1 or CH3 ボタンによるパニック

CH1 ボタンまたは CH3 ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的に発報させることができます。このパニックサイレン機能による発報は30秒間続きます。発報中はハザードラッシュとLEDの急点滅も行われます。

CH2 ボタンによるパニック

※ CH2ボタンによる操作の場合は発報せず、ハザード点滅のみとなります。

スタータ停止イモビライザ

警戒中にIG信号が入力されると、内蔵のスタータ停止リレーが作動し、エンジンの始動ができなくなります。

イモビライザ機能はシステムが解除されるまで動作し続けます。

各種機能の設定

本製品は、お客様のご利用環境に、より適応させるための便利な機能を準備しています。モード選択の方法は以下の手順にしたがい、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFします。

1. リモコンを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ必要回数動かし、再びACCポジションへ戻します。(20秒以内に必要回数動かしてください。)
3. 上記操作終了後ただちにリモコンの CH1 ボタンを押します。
4. ハザードランプがイグニッションキーをON/OFFした回数と同じだけ点滅し、モードが変更された事を表示します。
5. モード変更完了です。別の項目を変更する場合は手順1.～4.を繰り返します。

※モードは上記手順1.～4.を繰り返すたびに入れかわります。

モード選択表:

ON/OFF 回数	選択機能	選択内容	工場 出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト(アイト'リッ'対応)	ブ'ロテクト/ アイト'リッ'対応	ブ'ロテクト
4	アイドリング確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコードプログラミング※ ※ 23、24頁参照	初期値 "6"	

機能選択項目説明

インテリジェントIGプロテクト(アイドリング対応)

「プロテクト」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
「アイドリング対応」を選択した場合、エンジン始動中はドア開け検知以外では異常発報しないため、エンジン始動中にセキュリティをセットすることが可能です。

※ インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンジン始動対応モード選択中でも、警戒中にドア開け信号を検知し異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

アイドリング確認動作(アイドリング連動ライト)

「ON」を選択した場合、警戒状態でエンジン始動中はハザードが点灯し続けます。

※この機能は「アイドリング対応」設定時のみ有効です。

オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にセットします。(ドアロックは行いません。)

オートリアーム

「ON」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

※ 結線の方法によっては、ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。

イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)

「ON」を選択した場合、解除時のハザード点滅(3回)後ハザードランプが点灯します。点灯は30秒間経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまでつづきます。夜間の駐車場でお車を見つけやすくします。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。



ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。システムが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。

取扱に関するQ & A

Q1 :車を点検に出したらリモコンが効かなくなった!

- A1 : 車両点検作業の際にバッテリーをはずす等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーをはずす前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。
☞システムセット中に効かなくなった場合には緊急解除コードを使用してシステムを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。(本説明書23頁リモコン登録方法を参照)

Q2 :リモコンを紛失して不正利用されるのが不安!

- A2 : ☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されているすべてのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。本書23頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンではシステムを操作できなくなります。

Q3 :出先でリモコンを紛失してしまった!

- A3 : 緊急解除コードを使用して解除することができます。解除方法は本説明書8頁の「緊急(緊急リセットコードによる)解除」を参照してください。

Q4 :リモコンの電池が切れてしまった!

- A4 : 本製品のリモコン(TX-6X)には市販のボタン電池CR2032を2ヶ使用しています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

Q5 :セキュリティはセットされているのに何も反応しない!

- A5 : システムセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか?
CH2を使用するとシステムはサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じる場合があります。(本説明書5頁「サイレントモードのセット」をご参照ください。)

リモコン登録方法

本製品はリモコンを任意で最大3個(標準付属のリモコン以外に1個)まで登録可能です。リモコンの登録は下記手順にしたがって行うことができます。

手順	作業内容
1	リモコンを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2	解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ20回動かし、ACCポジションへもどします。
上記操作終了後、ハザードランプが20回点滅しリモコン登録モードになった事を表示します。	
3	ハザード点滅終了後10秒以内に登録したいすべてのリモコンのCH1ボタンを順番に押します。リモコン操作の都度、登録完了の確認チャープ音が1回とハザードが1回点滅します。 ※登録できなかった場合は一旦登録モードを終了し、再度行ってください。
4	上記ステップ3に続いてイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ動かし、すぐにOFFにします。
確認のため登録されたリセットコード数だけLEDが点滅します。 その後登録モード終了の確認チャープ音が3回とハザードランプが3回点滅します。	



注意!

複数のリモコンを登録する場合には1回の登録モード中に登録したいすべてのリモコンのボタンを順に押してください。新しいリモコンを登録すると古いリモコンのIDはすべて抹消されますので、現在お使いのリモコンも再度登録する必要があります。



ヒント

ハザード線を接続していない場合には上記手順内でのハザード点滅は行われません。ただし、メインユニットからハザードリレーの動作音「カチッ・カチッ」という音がハザード点滅のタイミングで聞こえます。

仕様一覧

セキュリティ本体仕様:

定 格 電 圧	DC24V
消 費 電 流	待機時約15mA
動 作 周 囲 温 度	-40℃ ~ 85℃

リモコン(TX-6X)仕様:

技 術 基 準	微弱電波帯
リ モ コ ン 電 池	CR2032 2個
リ モ コ ン 電 池 平 均 寿 命	通常使用で約12ヶ月
リ モ コ ン 操 作 距 離	見通し最大20m
I D コ ー ド 数	7,378京通り以上
I D コ ー ド 保 護 機 能	ローリングコード
保 護 構 造	生活防水

衝撃センサー仕様:

定 格 電 圧	DC12V~24V
消 費 電 流	約5.0mA (解除時0mA)
動 作 周 囲 温 度	-40℃ ~ 85℃
振 動 検 知 方 式	赤外線方式
保 護 構 造	IP40

サイレン仕様:

定 格 電 圧	DC24V
消 費 電 流	警報時約1A
動 作 周 囲 温 度	-40℃ ~ 125℃
保 護 構 造	IP54

《保証・無料修理規定》

- 1: 本製品の保証期間はご購入日より1年間です。
- 2: 取扱説明書の注意にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
- 3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上、ご購入の販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。
- 4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
- 5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取扱はずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
- 6: 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - リモコン電池等の消耗品の交換、および充電電池の破裂による故障および損傷
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - ご購入後の落下等による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障および損傷
 - 本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
 - 本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
- 7: 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- 8: 本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

注意!

- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、ご購入の販売店へお問い合わせください。
- ※ 各記入欄に必要な事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにご購入の販売店にお申し付けください。